

新春懇談会 2025

【第1部】 奥三河4市町村長によるパネルディスカッション

《日時》 2025年2月20日（木）16:30～

《会場》 新城市商工会館 3F

《配信》 <http://www.okumikawa-vf.com> /youtube

【第2部】 奥三河特産品試食会

《日時》 2025年2月20日（木）18:50～

《会場》 もっくる新城

タイムテーブル

16:15	開場・受付
16:30	■ オープニング
16:35	■ 発題 『縮減社会の持続可能性』
16:45	■ 奥三河4市町村長によるパネルディスカッション 『縮減社会の地域政策』
18:50	■ 奥三河特産品試食会（事前予約/会場移動）
19:45	終了予定

資料

次第	1
発題：縮減社会の持続可能性	3
提案：縮減社会における 「奥三河モデル」の構築	9
奥三河4市町村重点施策	15

奥三河4市町村長による
パネルディスカッション

縮減社会の地域政策

■ 発題 『縮減社会の持続可能性』

一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム 専務理事 田村 太一

■ 奥三河4市町村長によるパネルディスカッション

【パネリスト】

新城市長 下江 洋行

設楽町長 土屋 浩

東栄町長 村上 孝治

豊根村長 伊藤 浩亘

【コーディネーター】

一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム 理事 三崎 順一

日本の人口は、2008年にピークに減少しています。特に、離島や山間地域においては、加速度的に進行し、「医療」「教育」「防災」「雇用」「地域経済」などに深刻な影響を与えています。

国立社会保障・人口問題研究所によれば、2025年10月1日現在の奥三河の推計人口は47,898人。四半世紀の間に18,530人（39%）に及ぶ人口が減少し、2050年には29,368人になると予測しています。まさに、縮減社会の到来です。

しかし今、地域課題に一矢を放つプロジェクトとして、「設楽ダム建設」・「三遠南信道鳳来峡IC東栄IC間開通」・「豊橋新城スマートIC（仮称）設置」が進められています。奥三河へのアクセスを飛躍的に向上させ、人を呼び込み、人の流れを生み出すこれらの事業が、縮減していく奥三河に大きなインパクトをもたらすことが期待されています。

昨年、当会の新春懇談会2024において、「奥三河星座論」をテーマに、奥三河各市町村長に各地域での「輝く星」について語っていただきました。今年の新春懇談会では、この縮減社会の中で、その「星」をさらに煌かせ、新たな「星」を増やし、その「星」をつなぎ合わせ「星座」にするため、「奥三河の連携」をキーワードに議論を深めます。

